

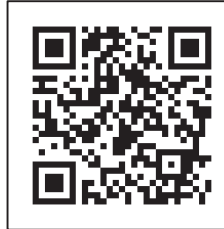
地球温暖化の影響について

地球温暖化が進行すると、夏の猛暑や強い雨が更に激しくなり、暑さによる健康被害、大雨による土砂災害や水害、高温による農作物の被害などの影響があると考えられています。
「出典：気候変動適応情報プラットフォーム」



気候変動(地球温暖化)に対しては、緩和策(温室効果ガスの排出削減など)はもちろんのこと、被害の回避・軽減を図る適応策に取り組むことが重要とされています。(参考：気候変動適応計画(令和3年10月22日閣議決定))

地球温暖化の影響や適応については、気候変動適応情報プラットフォーム(国立環境研究所)をご参照ください。



気候変動適応情報プラットフォーム
(国立環境研究所)

(参考) 予測シナリオについて

本リーフレットでは、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書(AR5)で用いられたRCP2.6シナリオとRCP8.5シナリオに基づき将来予測を行っています。

RCP2.6シナリオでは、21世紀末(2081-2100年)の世界平均気温が、工業化以前※と比べて約2℃(0.9~2.3℃)上昇する可能性が高いことから、本リーフレットでは「2℃上昇シナリオ」と表記しています。これは、パリ協定の2℃目標が達成された世界であり得る気候の状態に相当します。RCP2.6はIPCC第6次評価報告書(AR6)のSSP1-2.6に近いシナリオです。

RCP8.5シナリオでは、21世紀末(同上)の世界平均気温が、工業化以前と比べて約4℃(3.2~5.4℃)上昇する可能性が高いことから、本リーフレットでは「4℃上昇シナリオ」と表記しています。これは、追加的な緩和策を取らなかった世界であり得る気候の状態に相当します。RCP8.5はIPCC AR6のSSP5-8.5に近いシナリオです。

※1750年より以前の期間を示しますが、世界的な観測が行われるようになった1850-1900年の観測値で代替しています

全国の情報はこちら

「日本の気候変動2020」
(文部科学省・気象庁、令和2年12月公表)



千葉県の情報はこちら

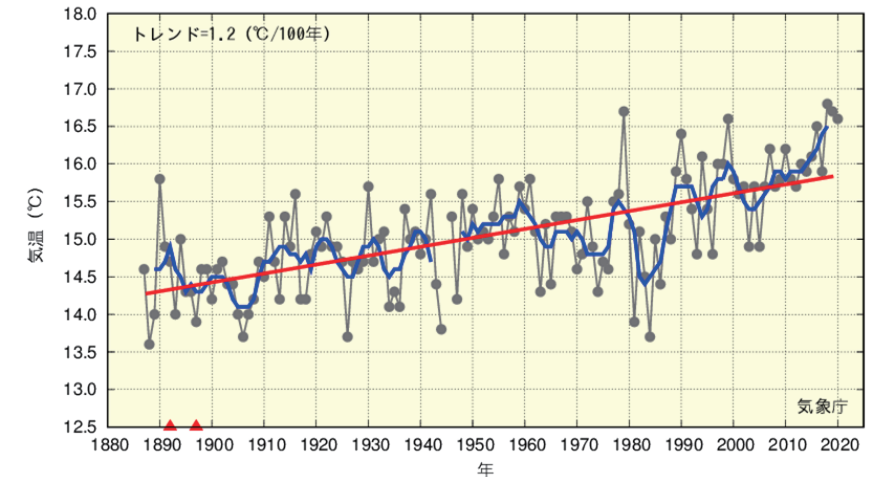
気候変化レポート
-関東甲信・北陸・東海地方-
千葉県の気候変動
-このリーフレット-



千葉県の気候変動

「日本の気候変動2020」(文部科学省・気象庁)
に基づく地域の観測・予測情報リーフレット

銚子市のこれまでの気温の変化



銚子市の気温は100年あたり約1.2℃上昇しています。
千葉県の将来の気候はどのようになるのでしょうか。

このリーフレットでは、20世紀末と比較した21世紀末の将来予測を、以下2つのシナリオについて示しています(詳細は裏表紙をご覧ください)。

2℃上昇シナリオ(RCP2.6)

21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約2℃上昇。
パリ協定の2℃目標が達成された世界。

4℃上昇シナリオ(RCP8.5)

21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約4℃上昇。
追加的な緩和策を取らなかった世界。



銚子地方気象台
東京管区気象台

千葉県銚子市川口町2-6431 銚子港湾合同庁舎
TEL: (0479)23-7705

東京都清瀬市中清戸3-235 TEL: (042)497-7219

このリーフレットは印刷用の紙にリサイクルできます

令和4年3月
銚子地方気象台・東京管区気象台

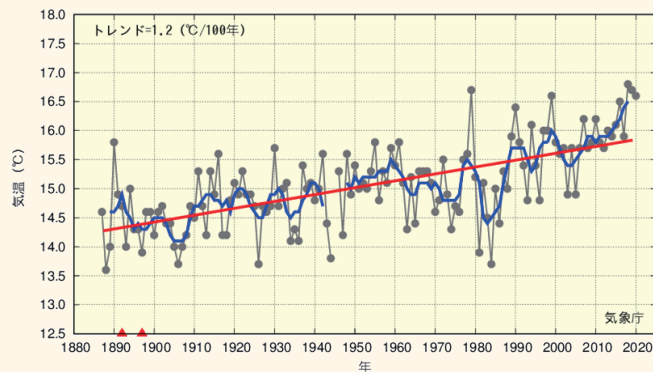
年平均気温の変化

➤ 21世紀末には年平均気温が約1.3℃/約4.1℃上昇 (2℃/4℃上昇シナリオ)

これまで

銚子(銚子市)では年平均気温が100年あたり**約1.2℃**上がっています。

銚子(銚子市)の年平均気温

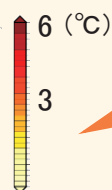
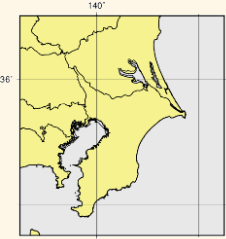


観測場所の移転による影響を補正したデータを使用しています。

これから

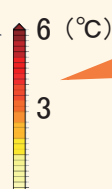
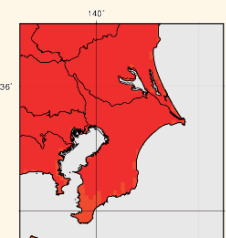
千葉県を平均した変化量を示す

2℃上昇シナリオ



約1.3℃
上昇

4℃上昇シナリオ



約4.1℃
上昇

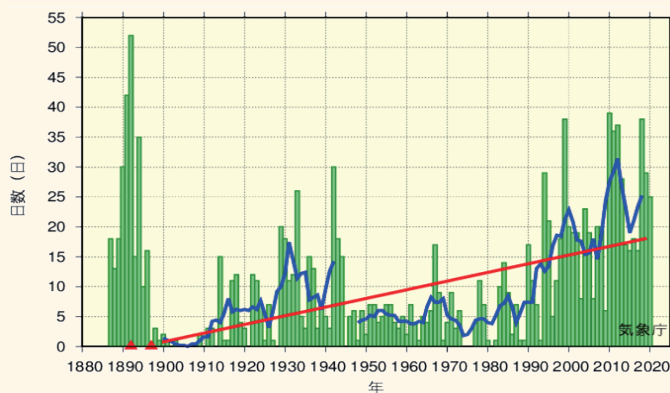
猛暑日や熱帯夜などの変化

➤ 21世紀末には真夏日が約19日/約63日増加 (2℃/4℃上昇シナリオ)

これまで

銚子(銚子市)では真夏日の年間日数が10年あたり**約1.5日**増えています。

銚子(銚子市)の年間真夏日日数



銚子の観測地点は1892年、1897年に移転しているため長期変化傾向は1898年以降のデータで評価しています。

これから

千葉県を平均した変化量を示す

2℃上昇シナリオ

猛暑日	3日程度増加	↑
真夏日	19日程度増加	↑
熱帯夜	17日程度増加	↑
冬日	13日程度減少	↓

4℃上昇シナリオ

猛暑日	27日程度増加	↑
真夏日	63日程度増加	↑
熱帯夜	65日程度増加	↑
冬日	32日程度減少	↓

猛暑日: 日最高気温35℃以上 真夏日: 日最高気温30℃以上 熱帯夜: ここでは日最低気温25℃以上 冬日: 日最低気温0℃未満

→ 産業や生態系など広い分野への大きな影響と健康被害の増大

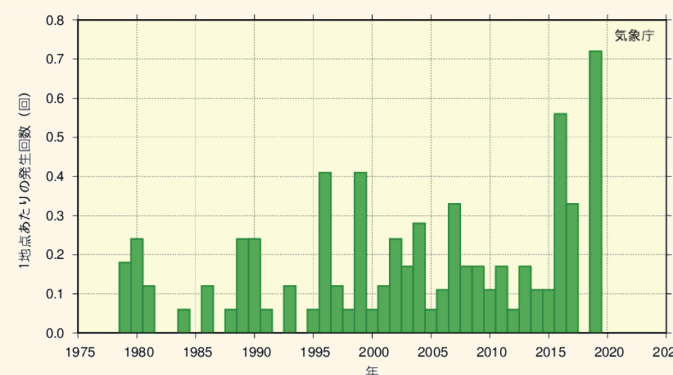
雨の変化

➤ 21世紀末には滝のように降る雨*の発生が約1.9倍/約3.0倍に (2℃/4℃上昇シナリオ)

これまで

千葉県では1時間降水量50mm以上の発生回数に有意な変化はみられませんが、最近10年間(2011~2020年)の平均年間発生回数は、統計期間の最初の10年間(1979~1988年)と比べて**約2.8倍**に増えています。

千葉県の1時間降水量50mm以上の発生回数変化



※滝のように降る雨: 1時間降水量50mm以上

これから

千葉県を平均した変化量を示す

2℃上昇シナリオ

千葉県では1時間降水量50mm以上の雨は**約1.9倍**に増加。

4℃上昇シナリオ

千葉県では1時間降水量50mm以上の雨は**約3.0倍**に増加。

地域単位での予測は不確実性が高いことに注意

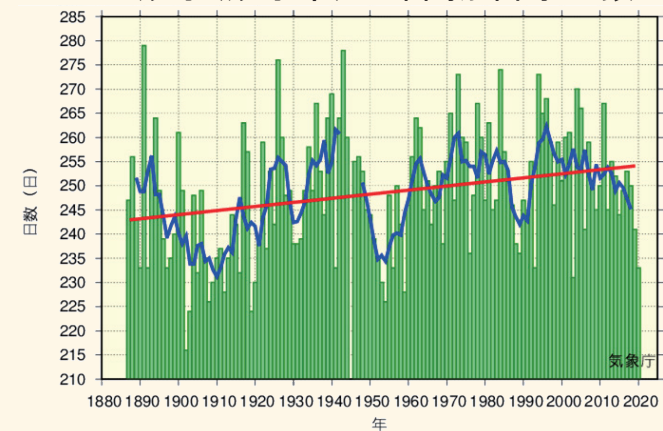
雨の降らない日の変化

➤ 21世紀末には雨の降らない日*が-/約9日増加 (2℃/4℃上昇シナリオ)

これまで

銚子(銚子市)では雨の降らない日が100年あたり**約9日**増えています。

銚子(銚子市)の年間無降水日数



これから

千葉県を平均した変化量を示す

2℃上昇シナリオ

千葉県では雨の降らない日に有意な変化はみられません。

4℃上昇シナリオ

千葉県では雨の降らない日は年間**約9日**増えます。



※雨の降らない日: 日降水量1.0mm未満の日

→ 大雨による災害発生や水不足などのリスクが増大

気候変動による一般的な影響を記載したものであり、千葉県について評価したものではありません。気候変動の影響については環境省『気候変動影響評価報告書』等をご覧ください。